

研究協力のお願い

岐阜県総合医療センターでは、下記の臨床研究を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。

皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。なお、この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は、下記のお問い合わせ先までお願いいたします。

最後に、研究への参加をお断りになった場合でも、将来にわたって当センターにおける診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究名：ホスネツピタント使用乳がん患者における悪心発生の要因検索

1. 研究対象者および研究対象期間

2023年6月-2026年8月の期間で当院にてホスネツピタント（アロカリス点滴静注 235 mg[®]）を使用した18歳以上の乳がん患者様

2. 研究目的・方法

催吐性リスクの高い抗がん薬に対する制吐療法としてホスネツピタントをはじめとするNK1受容体拮抗薬の使用が推奨されています。当院では主に乳がん患者様の催吐性リスクが高い抗がん薬を用いる治療にてホスネツピタントが使用されています。しかしながら、ホスネツピタントを使用した上でも悪心や嘔吐が発生する方もいらっしゃいます。現在、NK1受容体拮抗薬であるアプレピタントを用いた制吐療法にて、若年であること、女性、飲酒習慣がないこと、乗り物酔いや妊娠悪阻（ひどいつわり）の経験、前治療での悪心、嘔吐の経験、不安が制吐療法の効果を低下させる因子として報告されていますがホスネツピタントにおける調査の報告はありません。

本研究では乳がんのホスネツピタント使用時における悪心、嘔吐の発生する要因について検討することを目的とします。調査方法は電子カルテを用いて、後方視的に下記に示す内容を調査します。なお、本研究は金城学院大学と共同で行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、身長、体重、ホスネツピタント（アロカリス[®]）の投与開始日、既往歴、血液検査所見、使用中の抗がん剤や併用薬及び用量、悪心・嘔吐の発現状況、嗜好歴、バイタル、妊娠悪阻（ひどいつわり）の発現状況

4. 個人情報の取り扱い

個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

5. お問い合わせ先

地方独立行政法人岐阜県総合医療センター

所属 薬剤部

氏名 三輪 紗彩

電話番号：058 - 246 - 1111

(内線 8743)